

平成30年度 第1期

# えるのす連続講座

## ～女性大学～ 社会とつながり、心豊かに

月日	演題	内容	講師
5/29(火)	母体保護法と妊娠中絶	旧優生保護法のもと不妊手術をされた女性が、国を相手に訴訟を起こし始めています。この法は、障害者の出生を拒否するような内容の条文を削って、母体保護法となりました。それだけでよいのか、考えます。	札幌学院大学法学部 法律学科 教授 岡田 久美子
6/5(火)	火山と共に生きる ～自然を愛し、地球を知ろう～	日本列島には多くの活火山があります。私たちは噴火災害と向き合う一方で、火山の恩恵も受けてきました。火山と上手につきあうためのヒントを一緒に考えていきましょう。	北翔大学教育文化学部 教育学科 准教授 横山 光
6/11(月)	眠りとからだの リズムの不思議	からだの中に時計があることをご存知ですか？体内時計と呼ばれるこの時計により睡眠のリズム(周期)が作られています。睡眠とからだのリズムについてお話いたします。	北翔大学教育文化学部 教育学科 教授 佐々木 浩子
6/19(火)	いま読み返す、三浦綾子 —旭川出身ミリオンセラー作家の魅力—	『氷点』『塩狩峠』などで知られる三浦綾子。現在も、全国のファンが読書会を続けています。その魅力を、三浦綾子記念文学館三代目館長の講師が、画像なども用いてご紹介します。	北海学園大学人文学部 日本文学学科 教授 田中 綾
6/26(火)は男女共同参画週間講演会を行います。			
7/3(火)	北海道の開拓・開発と 北の植物たち	北海道の開拓や開発により自然環境は大きく変わり、多くの植物が消滅の危機に瀕しています。その背景や問題点、さらに保護・保全のための取組などを紹介いたします。	北海道大学北方生物圏 フィールド科学センター 教授 富士田 裕子
7/9(月)	超高齢社会を どう生きる ～住まいと介護・費用、社会参加	さらなる高齢化の進展により介護保険制度の内容も大きく変容しています。自己責任での生活設計が求められる中、介護・医療・住まい・経済・地域など様々な側面から共に考えてみましょう。	札幌大谷大学社会学部 地域社会学科 教授 永田 志津子
7/17(火)	「いのちの倫理」は ムズカシイ？	医療での安楽死など、ある日突然当事者として直面することのある「いのちの倫理」。難解なイメージゆえ敬遠しがちですが、それでも考えざるをえない倫理とは何かをお話します。	日本医療大学 保健医療学部 准教授 森口 眞衣
7/23(月)	ウイルス感染と ヒトの免疫機構	ウイルスはヒトに感染すると、細胞内に侵入し、ウイルス感染症を起こします。しかしヒトも「免疫」という防御機構で対抗しますので、この免疫についてわかりやすく説明します。	北海道科学大学保健医療学部 臨床工学科 教授 印藤 智一
7/31(火)	文書館企画展 「世界史の中の北海道」 について	明治前期頃の世界情勢と北海道の関わりを示す企画展の内容を紹介しつつ、北海道立文書館にはどのような資料があり、どのように利用できるかなどについてお話します。	北海道立文書館 文書専門員 山田 正
8/7(火)	現在(いま)を知る	政治、経済、社会、生活、文化、国際報道など、世の中の動きや出来事を読み解き、考えます。	北海道新聞社論説委員室

主催 公益財団法人 北海道女性協会  
後援 北海道・札幌市・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会



2018年は北海道150年  
Hokkaido's 150th Anniversary